

病院勤務以外の看護師等 認知症対応力向上研修

目的

高齢者と日頃から接することが多い、病院勤務以外(診療所、訪問看護ステーション、介護事業所等)の看護師、歯科衛生士等の医療従事者に対し、認知症の人や家族を支えるために必要な基本知識や認知症ケアの原則、医療と介護の連携の重要性等の知識について修得するための研修を実施することにより、認知症の疑いのある人に早期に気づき、地域における認知症の人への支援体制構築の担い手となることを支援します。

対象

県内の診療所・訪問看護ステーション・介護事業所等の看護師、保健師、歯科衛生士、理学療法士、作業療法士、言語聴覚士、診療放射線技師、栄養士等の医療従事者



三重県から修了証書が交付されます

日程

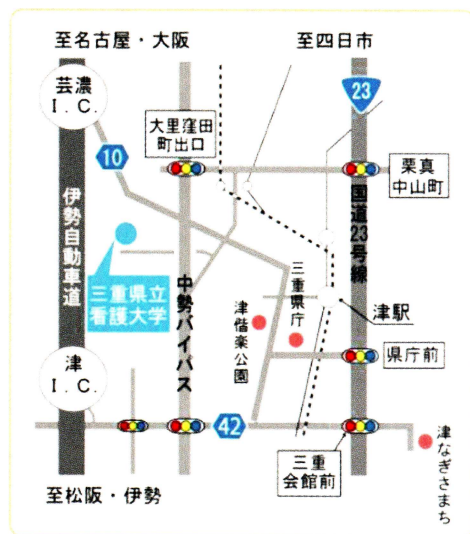
令和8年8月2日(日)
13:00 ~ 16:50

会場

三重県立看護大学

定員

200名 **受講料無料**



申込

所属施設の申込担当者様よりお申込みください

右の二次元コードを読み込んでいただくと
申込フォームに移動します。
必要事項をご記入のうえ、送信してください。
なお、受講希望者3名以上の場合は、再度お申込ください。
*本学ホームページからもお申込できます。

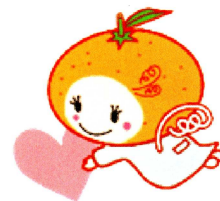
[三重県立看護大学](#) > [地域交流センター](#) > [認知症対応力向上研修](#)

8月2日(日)申込み



申込締切 7月9日(木)

プログラム



講師:清水 律子(三重県立看護大学 老年看護学 准教授)
事例検討:ファシリテーターが加わります

時間	形態	科目	ねらい
13:00~15:00	講義	1.基本的知識	認知症の人や家族の視点に立ち、その生活を支えるために必要な基本的な知識を習得する
		2.地域における実践	認知症の人のQOLの向上を図るため、コミュニケーション、ケア及び多職種連携による支援の実際を理解する
		3.社会資源等	認知症の人を取り巻く、医療・介護及び地域の社会資源の活用的重要性を理解する
15:10~16:40	事例検討	様々な医療従事者やファシリテーターとの交流が中心になります	

*開始5分前からオリエンテーションがあります

受講生の声

- ・「認知症の種類や特徴を学び、関わり方が広がった」
- ・「認知症への接し方、コミュニケーション等を学ぶことができた」
- ・「早期に発見し対応することで、その後の生活が長くその人らしく送れることを学んだ」
- ・「ご本人様の本当の思いを知ることの大切さを再認識できた」
- ・「色々な支援の方法や地域でのサービスを学んだ」
- ・「事例を通して、多職種で色々な視点を学べて勉強になった」
- ・「今回学んだことを活かしていきたい」など

○お知らせ等は、本学よりメールで送信いたします。

メールに受信制限をかけている方は、本学からの返信メールを受信できない場合がありますので、本学ドメイン「mcn.ac.jp」を指定受信設定してください。

○申込締切日を2週間以上過ぎても連絡がない場合は、お問い合わせください。

○お預かりした個人情報は本研修のみ使用し、研修終了後は一定の期間をもって適切に破棄します。

○本研修の様子を、写真等で本学のホームページ等に掲載する予定です。

○会場内での写真撮影・録画・録音を禁止いたします。ご了承ください。



お問合せ先

三重県立看護大学 地域交流センター 丸山
〒514-0116 三重県津市夢が丘一丁目1番地1
TEL:059-233-5610(平日9時~17時) E-mail:event.rc@mcn.ac.jp

